



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナック

コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室 室長 (氏名) 川上 裕也

TEL 03-3346-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	39,631	20.9	1,408	7.7	1,423	8.6	773	92.6
25年3月期第2四半期	32,785	19.6	1,307	90.2	1,311	98.8	401	39.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 711百万円 (69.0%) 25年3月期第2四半期 420百万円 (57.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	46.63	—
25年3月期第2四半期	24.38	—

(注)当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	38,612	14,173	36.7	853.50
25年3月期	29,971	13,648	45.5	824.06

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 14,173百万円 25年3月期 13,648百万円

(注)当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	31.00	61.00
26年3月期	—	17.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期の配当については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,400	28.6	5,150	15.9	5,170	16.0	2,850	15.5	171.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	18,719,250 株	25年3月期	18,719,250 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	2,113,440 株	25年3月期	2,156,734 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	16,585,675 株	25年3月期2Q	16,469,278 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における日本企業の経営環境は、政府による経済対策や日銀の金融緩和を背景に企業収益や個人消費の一部に緩やかな回復傾向が見られ、景気回復への期待感が広がりました。しかし足下では、円安による原材料やエネルギーコストの上昇に加え、来春の消費増税に対する影響も懸念され、個人消費の本格的な回復にはなお注視が必要な状況です。

当社グループの事業領域である住宅業界では、住宅ローン金利や地価の先高感、また消費増税前の駆け込み需要により、新設住宅着工戸数の増加傾向が続きました。他方で、小売・サービスの業界では業種・業態を超えた企業間競争が進み、予断を許さない経営環境にあります。

このような状況の下、当社グループでは、創業時からの基本戦略である「コングロマリット経営」の基盤を強化し、かつ中期目標に掲げる売上高1,000億円の達成に向けて積極的な販売促進を行いました。住宅事業では前年度の出店が寄与し、好調に推移するとともに、引き続き都市圏を中心に営業エリアを拡大しました。また、化粧品・健康食品の通販事業を手がける株式会社JIMOSと、注文住宅を販売する株式会社ジェイウッズの株式を7月に取得し（発行済株式総数の100%の株式を取得）、新たに連結子会社といたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高39,631百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益1,408百万円（同7.7%増）、経常利益1,423百万円（同8.6%増）、四半期純利益773百万円（同92.6%増）となりました。セグメント別業績はつぎの通りです。なお、株式会社JIMOSが当社グループに加わったため、当第2四半期連結累計期間より通販事業のセグメントを設けております。

各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等617百万円があります。

[クリクラ事業]

当第2四半期連結累計期間も引き続き「クリクラ」ブランドの浸透に努め、直営店・加盟店部門ともに顧客数が前年同期を上回り、ボトルの販売本数も増加しました。しかし、加盟店向けのウォーターサーバー販売数が前年より減少したため、売上高は6,991百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

利益面では、営業人員の増加による人件費の増加と、引き続き販売促進費を投入したことにより、営業利益は146百万円（同58.4%減）となりました。

なお、当四半期に直営の港北営業所を開設しております。

[レンタル事業]

主力のダストコントロール商品では、業務用市場で経費削減傾向が続き、家庭用市場も営業の人員が不足したため顧客獲得数が伸び悩みました。子会社の定期清掃サービスは、販売促進を強化した結果、前年同期より伸長しました。害虫駆除関連商品では、一部で人員不足が見られ、新商品の販売が計画を下回ったものの、代理店部門が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は6,098百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は874百万円（同22.7%増）となりました。

[建築コンサルティング事業]

主要顧客である工務店の受注に前向きな動きが見られる中で、ノウハウ販売では、自然素材住宅やデザイナー住宅の新商品を販売しました。また、太陽光発電システムを中心とした部資材販売では、既築住宅用の太陽光発電市場がやや落ち込んだものの、原価率の改善や販管費のコスト削減が奏功し、売上・利益ともに伸長しました。

以上の結果、売上高は2,413百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益は445百万円（同173.6%増）となりました。

[住宅事業]

当期間も、都市圏を中心に積極的な出店と販促活動を行いました。新設住宅着工戸数の増加に伴い、原材料価格の上昇や職人不足による工期の遅れも懸念されましたが、前年同期を上回る完工・引渡となりました。また、当四半期より子会社化した株式会社ジェイウッズを当セグメントに加えております。

以上の結果、売上高は22,049百万円（前年同期比23.3%増）となりました。しかし利益面では前期を上回る出店展開を行ったことにより出店費用等が増加し（前年同期の10店に対し当期間は15店を開設）、営業利益は540百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

受注状況につきましては、当四半期末における受注残が1,860棟（前年同期1,434棟）となっております。都市圏での受注増加と、既存店の商品施策が奏功し、受注状況、販売単価とも好調に推移しています。

なお、当四半期に横浜展示場、戸塚展示場、可児展示場、近江八幡展示場、神戸北店、神戸西展示場の開設を行いました。これにより、店舗数は46支店44展示場となりました。また、株式会社ジェイウッズの展示場が3ヶ所あります。

[通販事業]

平成25年7月に、化粧品・健康食品の通販を手掛ける株式会社JIMOSを当社グループに加え、新たな事業領域として通販事業に参入しました。化粧品の主力ブランド「マキアレイベル」と、自然素材由来の成分を主とする「Coyori」ブランドを中心に、健康食品の「代謝生活CLUB」、小売店への卸販売を行うホールセール事業、および通販支援事業で構成されます。

当第2四半期会計期間の売上高は2,079百万円、営業利益は20百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて8,641百万円増加し、38,612百万円となりました。これは主に当第2四半期より株式会社JIMOSおよび株式会社ジェイウツの2社が連結対象子会社となり当該2社の現金預金、売掛金、たな卸資産、ソフトウェア等の資産が合算されたこと、さらに当該2社の連結子会社化にともないのれん等が計上されたこと、またクリクラ事業で建設中のプラントに関する建設仮勘定が増加したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて8,116百万円増加し、24,439百万円となりました。これは主に上記2社の買掛金、未払金等の負債が合算されたこと、また子会社取得にともなう借入金の増加および住宅事業で未成工事受入金が増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ524百万円増加し、14,173百万円となりました。これは主に四半期純利益773百万円計上等により利益剰余金が増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金という」）残高は、前連結会計年度末に比べ1,870百万円減少し6,537百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得た資金は、3,174百万円（前年同四半期は1,220百万円の収入）となりました。これは主に未成工事受入金2,906百万円、税金等調整前四半期純利益1,502百万円、減価償却費624百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加1,101百万円、法人税等の支払924百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、8,903百万円（前年同四半期は886百万円の支出）となりました。これは主に連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出5,499百万円、有形固定資産の取得による支出3,043百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は、3,859百万円（前年同四半期は280百万円の支出）となりました。これは主に長・短期借入金の増加3,653百万円、配当金の支払257百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年8月9日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成25年11月8日）公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,420,581	6,550,749
受取手形及び売掛金	2,759,238	3,405,946
商品及び製品	1,625,659	2,430,560
未成工事支出金	1,834,887	2,918,312
原材料及び貯蔵品	87,447	196,032
その他	2,385,787	3,042,307
貸倒引当金	△102,417	△105,639
流動資産合計	17,011,184	18,438,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,843,373	5,079,177
土地	2,021,629	2,044,587
その他	1,685,649	3,859,505
有形固定資産合計	8,550,651	10,983,270
無形固定資産		
のれん	360,182	2,585,777
その他	336,385	2,693,271
無形固定資産合計	696,567	5,279,048
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,272,794	2,452,469
その他	1,854,327	1,963,628
貸倒引当金	△414,460	△504,050
投資その他の資産合計	3,712,661	3,912,048
固定資産合計	12,959,881	20,174,367
資産合計	29,971,065	38,612,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,308,981	4,689,016
短期借入金	673,574	1,425,325
未払法人税等	902,807	762,215
未成工事受入金	4,166,888	7,330,286
賞与引当金	735,676	837,760
引当金	290,971	400,254
その他	3,114,854	3,567,992
流動負債合計	14,193,753	19,012,851
固定負債		
長期借入金	555,714	3,567,252
資産除去債務	620,955	619,287
その他	952,155	1,240,176
固定負債合計	2,128,824	5,426,715
負債合計	16,322,578	24,439,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	910,946	954,076
利益剰余金	10,974,729	11,487,591
自己株式	△1,437,210	△1,410,235
株主資本合計	14,448,466	15,031,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,013	4,859
繰延ヘッジ損益	4,325	△619
土地再評価差額金	△866,318	△862,604
その他の包括利益累計額合計	△799,978	△858,364
純資産合計	13,648,487	14,173,069
負債純資産合計	29,971,065	38,612,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	32,785,564	39,631,036
売上原価	20,390,956	24,170,891
売上総利益	12,394,607	15,460,144
販売費及び一般管理費	11,086,919	14,051,469
営業利益	1,307,688	1,408,675
営業外収益		
受取利息	7,530	8,806
受取配当金	10,424	7,677
受取地代家賃	2,982	2,892
受取手数料	7,214	7,214
その他	22,190	36,669
営業外収益合計	50,342	63,260
営業外費用		
支払利息	18,430	23,341
減価償却費	6	—
為替差損	12,121	15,935
その他	16,207	9,229
営業外費用合計	46,765	48,505
経常利益	1,311,265	1,423,429
特別利益		
投資有価証券売却益	—	101,055
特別利益合計	—	101,055
特別損失		
固定資産処分損	8,190	15,391
減損損失	—	5,686
創業者功労金	500,000	—
その他	—	1,325
特別損失合計	508,190	22,403
税金等調整前四半期純利益	803,075	1,502,081
法人税、住民税及び事業税	361,182	729,214
法人税等調整額	40,310	△532
法人税等合計	401,492	728,681
少数株主損益調整前四半期純利益	401,582	773,400
四半期純利益	401,582	773,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	401,582	773,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,216	△57,154
繰延ヘッジ損益	△813	△4,945
その他の包括利益合計	19,403	△62,099
四半期包括利益	420,985	711,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,985	711,300
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	803,075	1,502,081
減価償却費	431,271	624,265
減損損失	—	5,686
のれん償却額	96,448	176,770
固定資産処分損益 (△は益)	8,190	15,391
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1,710	△101,055
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	143,804	△1,910
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60,140	46,130
受取利息及び受取配当金	△17,954	△16,483
支払利息	18,430	23,341
売上債権の増減額 (△は増加)	247,478	198,936
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△671,624	△1,101,619
仕入債務の増減額 (△は減少)	△148,559	234,499
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	2,274,292	2,906,309
未払金の増減額 (△は減少)	△197,768	△319,140
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△79,982	△151,216
その他	△642,204	64,001
小計	2,206,467	4,105,987
利息及び配当金の受取額	17,968	16,485
利息の支払額	△18,626	△23,504
法人税等の支払額	△985,211	△924,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,220,598	3,174,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,000	△13,000
定期預金の払戻による収入	213,000	13,000
有価証券の取得による支出	—	△64,909
有価証券の売却による収入	—	214,751
有形固定資産の取得による支出	△578,873	△3,043,725
有形固定資産の売却による収入	—	3,783
無形固定資産の取得による支出	△151,030	△101,333
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,499,605
貸付けによる支出	△150,000	△266,563
差入保証金の差入による支出	△52,338	△114,122
その他	△53,769	△32,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	△886,010	△8,903,781
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△284,625	32,801
長期借入れによる収入	700,000	4,000,000
長期借入金の返済による支出	△474,200	△379,289
自己株式の取得による支出	△296	△381
配当金の支払額	△221,087	△257,087
その他	△360	462,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	△280,568	3,859,002
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	54,020	△1,870,232
現金及び現金同等物の期首残高	5,841,150	8,407,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,895,170	6,537,349

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

① 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

i 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサル ティング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,937,781	5,904,576	2,065,505	17,877,700	32,785,564	—	32,785,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	3,347	—	—	3,476	△3,476	—
計	6,937,910	5,907,924	2,065,505	17,877,700	32,789,041	△3,476	32,785,564
セグメント利益	353,285	712,780	162,646	602,718	1,831,431	△523,743	1,307,688

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△523,743千円には、セグメント間取引消去・その他調整額65,035千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△588,778千円は含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第2四半期連結会計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

i 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	クリクラ 事業	レンタル 事業	建築コンサル ティング 事業	住宅 事業	通販 事業 (注) 1	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,990,852	6,098,159	2,413,314	22,049,163	2,079,546	39,631,036	—	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	422	839	—	—	—	1,261	△1,261	
計	6,991,274	6,098,999	2,413,314	22,049,163	2,079,546	39,632,298	△1,261	
セグメント利益	146,829	874,306	445,023	540,433	20,013	2,026,605	△617,930	

(注) 1. 当第2四半期連結会計期間に、株式会社JIMOS社を子会社化したことにより、新たに通販事業を報告セグメントに追加しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△617,930千円には、セグメント間取引消去・その他調整額22,858千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△640,789千円は含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ii. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年7月12日付で株式会社JIMOSの発行済株式総数の100%の株式を取得し同社を連結子会社といたしました。
これにより、新たに通販事業を報告セグメントに追加しております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、2,087,241千円であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	前第2四半期 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日	当第2四半期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	前第2四半期 平成24年9月30日現在	当第2四半期 平成25年9月30日現在
住宅事業	22,130,009	31,736,993	24,321,415	32,437,669